

会 報

東北大学教育学部同窓会仙台支部

新しい教育学部です

東北大学教育学部長
菊池 武剋

4月から学部長を仰せつかりました。みなさまご存じのように、国立大学は大きな変革期を迎え、東北大学も平成16年からの法人化を目指しております。その法人化までが私の任期です。法人化の中で、新しい教育学部の未来を開いていかなければなりません。同窓会のみなさまのご支援を心からお願い申し上げる次第です。

教育学部は平成12年度から大学院に重点を移し、大学院大学として大学院と学部の教育内容を再編いたしました。また平成14年度に新しい大学院「教育情報学研究部・教育部」の発足に伴って、附属大学教育開放センターが廃止・統合されました。さらに教育学研究科に新しく「臨床心理研究コース」が設けられました。このように教育学部を巡る状況はめまぐるしく変化し、日々新たな様相を見せております。しかし、日本における教育学の研究・教育拠点としての位置を確立することが、東北大学教育学部の基本的姿勢であることは変わりません。むしろそのために日々の改革が求められているということだと思います。



さて、教育学部は昭和48年に片平地区から現在の川内地区に移転し、文学部と同じ建物に居りましたが、本年4月から新築された文化系総合研究棟に移りました。11階のうち2、3、5、6、7、8、9、10階を教育学部が使用しております。独立の建物を持つことは学部の悲願でもありました。それをかなり達成できたことは何よりうれしいことです。これを機会に一層の発展を目指してまいります。みなさま是非お出かけください。

第 23 回

同窓会仙台支部総会のご案内

初秋の候、同窓生各位にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、下記により仙台支部総会を開催いたします。昨年同様、五橋会館が会場です。

ご多用の折とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成14年11月16日(土)
午後3時～7時
2. 会 場 五橋会館 (227-1515)
(青葉区五橋1丁目5-3)
3. 内 容
(1)仙台支部総会 15:00～15:30(14:30受付開始)
(2)講 演 15:45～16:45
講 師 前宮城学院女子大学教授
鈴嶋 清美 氏
演 題 「岐路に立つわが国の学校教育」
(3)懇 親 会 17:00～19:00
4. 会 費 5,000円当日受付にて申し受けます。
5. 申込み 同封のはがきでお願いします。
6. 締切日 11月2日(土) 取消は11月9日(土)迄に
※ 総会当日直前にキャンセルの場合は、会費のご負担をお願い致します。

ささやかなプレゼント

副支部長 阿部 琢也 (36年入学)

早いもので教職生活の最終年度も4ヶ月が過ぎようとしている。今まで当たり前のようにこなして来た行事にも、「これで最後なんだ」という感慨を覚えながら毎日を過ごしている。

5月の下旬に3年生の修学旅行があり、団長として引率に加わった。今どきの中学生のこと故、生徒の態度・行動に過大な期待をしてもと思い、事前の結団式では「安全第一を心がけ、みんなにとって楽しい旅行を」と呼びかけるにとどめた。

旅行が始まってみると、出発時の服装・態度がきちんとしているのはじめ、自主研修の際の集合時刻の遵守など、生徒の行動には引率教員の期待を上まわるものがあつた。

2日目の夜はディズニーランドを9時近くにたつて、両国のホテル着が10時ごろの予定になっていた。その後各部屋で入浴して、10時半の消灯である。

分刻みの日程で、楽しいおしゃべりの時間も与えられずに消灯になってしまう生徒たちへの同情の気持ちがわいて来た。同時に、こんなに立派に行動している生徒たちに、何か応えてあげられることはないだろうか、という気持ちもあつた。

ホテル到着まぢかになって隣席の学年主任の同意を得た上で、「今夜の消灯時刻を30分延長します」という緊急指示を各号車に伝えさせた。

バスの中は、喜ぶ生徒たちの声ではちきれんばかりだった。ホテルのロビーから各部屋に向かう生徒たちが、口々に「校長先生ありがとうございました」と言って頭を下げた。行って行った。

生徒たちが与えてくれた「ささやかさ」への、ほんのささやかなプレゼントのつもりが、さらに大きな「さわやかさ」で私を包んでくれた。

3年生担当の引率教員の表情にも、生徒たちの努力を誇りに思っている様子がうかがわれた。消灯時刻30分延長をだれよりも提案したかったのは学級担任だったにちがいない。

競技かるたに魅せられて

長田かつよ (33年入学)

「あらざらむ この世のほかの おもひでに…」のうたをはじめ私は百人一首の虜になっています。

そのきっかけは、朝のラジオから「頭健康には、かるたはいいですよ」と、いう声が聞こえた事に始まりました。私には、まるで母が私に語りかけたように思えて、やる気の電気が全身を流れ始めたのです。

実は、20年ほど前、私の母は「アルツハイマー型の痴呆症ではないか？」と診断されました。今のように理解の進んでいなかったその頃、悲しみと情けなさが先行して、帰省して顔をみると涙がこぼれるのに、口から出る言葉は「さっきも言ったでしょ！」等と、母を一層不安にしたり自信をなくさせたりするようなことばかり言っていた私だったのです。悪い娘でした。

その私も母の年令に近づくとつれ、自分に対する物忘れの不安が無かったら嘘になります。「年齢相応に老いて行きたい」そう思うのです。年齢より早く、加速的に物忘れはしたくないもの人並みに願う自分勝手な不遜を神様どうぞお許してください。

今、ご縁を頂いているケアハウス橘館の方々は、いつまでもお元気で、輝いてお過ごしいただきたい……そのためにも皆で楽しめたら……そんな願いで、中田市民センターへ日曜日毎ケアハウス橘館の有志の方々と4ヶ月ほど通ってみました。そして、ようやくなんとか同好の志も集まってクラブ活動的にやれそう、と、いう事で平成13年6月「橘かるた会」発足の運びにこぎつけました。斉静子先生にボランティアを頂いて、毎月第2、第4木曜日「坊主めぐり」の笑いで始まる午後1時から3時迄の活動なのです。

ようやく満1歳を迎えた「橘かるた会」、温かく見守り、励まし、ご指導くださった「中田かるた会」の皆さんの懐が恋しくて、今なお日曜日には中田に足が向いているところです。

道徳教育偶感

池田 和夫(26年入学)

教課審の答申に基づき、小学校・中学校において昭和33年度から「道徳」の時間を特設し、道徳指導の充実を図ることとするという文部省3・18通達がだされてから、はや半世紀になる。

同年1月、『児童心理』12巻1号に恩師正木正教授が「道徳教育の検討」を寄せられた。このなかで、先生は問題意識、道徳性と教育的責任、カリキュラム論・学習論、道徳性の心理的構造の四つについて検討をおこない、国民各層の道徳問題意識にズレのあること、道徳的問題の根元が社会にあることを忘れ、それが直ちに教育の責任において語られるを指摘した。さらに学級経営、指導方法、テキスト問題、教師と生徒の人間関係のあり方が十分に究明されていないこと、道徳性の心理的構造の研究が未着手であること、道徳性と人格の全体構造の関連研究が遅れていることなどをあげ、これらのことが科学的に十二分に究明され、その結果に基づいて道徳指導が展開されるべきであると主張された。後日、先生は第五の検討課題として、道徳教育の指導法の奥にあるものとして「教師自身の人格のあり方」をとりあげている。先生が指摘された事柄は、そのまま、いまでも道徳教育実施上の諸問題として残されている気がしてならない。

さきごろ、教員志望の学生50数名に「いま、中学生に道徳の時間の指導をすることになったら、4領域23項目のなにをとりあげますか」とたずねた。選択の多かったのは領域では、2領域-48% 1・3領域-25%前後、項目では個性や立場の尊重、友情の尊さ、崇高なものへの畏敬、人間の強さ、自己を見つめるの順であった。選んだ理由は、いまの中学生に欠けている、必要だからという。だれひとり、第4領域10項目から選んだものがなかった。社会化異変が起こっているのかな。

同期会だより

七期会(昭和30年入学)

第7期会は、昭和34年卒業ということから会名を「3・4会」とし、昭和54年11月、仙台市都市センターにおいて発足会となる第1回総会を開催した。爾来、途中欠けた年が数年あったが会合は続き、今年度11月10日の松島大観荘での総会で第16回目を迎える。

当初は一夜の日程で仙台市内を会場としていたが、平成5年度から1泊2日とし、当番も仙北・仙台・仙南の輪番制、そして、例年11月の第2土日頃開催となった。昨年度は蔵王温泉在住の齋藤氏の肝煎りで、初の県外進出となる蔵王温泉を会場として開催された。

最近、会員名簿に空欄が、そして、体調不良を訴える返信が目につくようになってきた。寂しいかぎりではあるが、最後の1名になるまで会は続けようと頑張っている「3・4会」である。

(文責 小野正義)

八期会(昭和31年入学)

学窓の空気を吸ってから40数年を経過しましたが、学生時代の学びと交流の体験は、その後の生き方・行き方の羅針盤となってきました。同期の諸氏も同じ感慨を抱いていることと思います。

支部発足以来、今年で23年目を迎えます。幸いなことにわが同期生は、常時、総参加者の3・4割を占めてきました。その目的は一つ、学びを土台とする生き方を一堂に会して喜び語り合うことです。専攻によっては、時期を違えて集いをしているようですが、それでもこの状況です。かつて、岩手や福島県からまで参加者がありましたが学部の教授の講演が聴ける楽しみも要因の一つでしょう。近年は、会報が発行され、学内の教育体制の変革・発展の様子や同窓会の動向等が披瀝・紹介されるようになって、魅力が一層増してきました。誠に心強い限りです。140余名への案内状発送作業にも意気上がり心躍るというものです。

(文責 今野健)

仙台支部役員名簿

(平成13.12～平成15.11)

事務局だより

| | | |
|--------|---------|----------|
| 顧問 | 藤井 黎 | 24三浦 修一 |
| | 25多田 滋 | 25佐々木一洋 |
| | 28永野 昌一 | 31雪江 美久 |
| 支部長 | 37關口 隆 | |
| 副支部長 | 36阿部 琢也 | 36岡崎 忠 |
| | 39軍司 啓 | |
| 参与 | 24岩淵昌次郎 | 24富塚 英雄 |
| | 24志村 元一 | 29石森 幸子 |
| | 31柘澤 怜 | 32佐々木亀三男 |
| | 33佐藤 健仁 | |
| 年度理事 | 24小野 春夫 | 24川井 善夫 |
| | 24丸谷慶二郎 | |
| | 25高橋 公正 | 25菊池 康雄 |
| | 25静田 一 | |
| | 26三橋 亮一 | 26池田 和夫 |
| | 27岡崎 忠 | 27青木 敏浩 |
| | 28小關 幸生 | 28古澤 良一 |
| | 29青木 寛敏 | 29星 博 |
| | 30小野 正義 | 30小畑 博之 |
| | 31楨 要照 | 31今野 健 |
| | 31菅原 教雄 | |
| | 32久保田 明 | 32砂金 信男 |
| | 33金岡 昭房 | 33熊谷 捷子 |
| | 34菱沼安太郎 | 34一条 紀久 |
| | 35泉 豊 | 35岡本 幸子 |
| | 36川村 幸 | |
| | 37菊田 泰丸 | 37小倉 英樹 |
| | 38櫻井 正幸 | 38熊谷 洋 |
| | 39牛田 和夫 | 39五十嵐楯夫 |
| | 41安住 裕 | 50別府 成裕 |
| | 52白澤 利広 | 57川上 芳夫 |
| 監事 | 25佐藤 寿郎 | 48宮腰 英一 |
| 大学関係理事 | 52渡部 信一 | |
| 事務局 | 35伊藤 昭 | 38佐藤 誠 |
| | 39大浪 榮一 | |
| 会計理事 | 36正木 競 | 37千葉 雅修 |
| | 39郡山 慶子 | |

会員の皆様には、日ごろ多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

下記のように委員会を構成し、それぞれ活動を展開しております。

会則検討委員会

委員長 31柘澤 怜 副委員長 31今野 健
委員 25静田 一 28古澤 良一
34一条 紀久 37菊田 泰丸

名簿作成委員会

委員長 30小野 正義 副委員長 31菅原 教雄
委員 25高橋 公正 29青木 寛敏
33金岡 昭房 35泉 豊

会報発行委員会

委員長 25菊池 康雄 副委員長 32佐々木亀三男
委員 26池田 和夫 27青木 敏浩
32久保田 明 34菱沼安太郎
39牛田 和夫

会計委員会

委員長 29石森 幸子 副委員長 36正木 競
委員 37千葉 雅修 39郡山 慶子

○前支部長、雪江美久氏には平成8年から3期6年間にわたり、本会の代表として務めを果たして頂きました。会員の皆様と共に感謝申し上げます。

後任といたしましては、37年入学の關口隆氏が役員会で推挙されております。よろしく願い申し上げます。

○会報第6号をお届けいたします。ご多用の中、ご執筆いただきました皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

○会報につきまして、皆様方からのご意見、ご希望等を下記事務局（連絡先）にお寄せいただければ幸いに存じます。

事務局（連絡先）

〒982-0816 仙台市太白区山田本町20-10
伊藤 昭 TEL 244-1830

（連絡先）

幸町南小学校 佐藤 誠 TEL 792-9133
燕沢小学校 大浪 榮一 TEL 251-3595